

2010年12月のブラジル日本商工会議所活動状況の纏め

ブラジル日本商工会議所
事務局

I ブラジル日本商工会議所の活動の変化

会議所活動状況(2010年12月21日現在)

項 目	2007年	2008年	2009年	2010年
懇親昼食会、夕食会、忘年会、新年会	12	12	12	12
歓迎・送会(大使、総領事、常任理事他)	0	5	3	0
部会の開催件数(部会・長シンポ、共催)	29	27	34	25
委員会の開催件数(異業種交流委員会)	18(12)	20(10)	21(9)	23(8)
同上(会議所外 GIE・CDM会合、FIESP等他の公的機関)	5	1	2	0
日系諸団体との会議(日系代表5団体ほか)	14	10	7	2
月例会の件数(法律、労働問題)	19	18	21	22
総会・臨時理事会	3	5	3	5
セミナー、イベントの開催件数(共催)	20(8)	15	14	15(5)
研修旅行(大・小旅行相互啓発主催)	1	0	0	0
工場・農場見学(相互啓発主催)	0	0	0	0
同 上(部会主催)	7(2)	1	3	1
他の団体との会議・シンポ・セミ・フォーラム(官民合同、経団連、FIESP訪日ミッション、全伯日系会議所、日伯議員連盟、他州ほか)	11	11	15	14
他団体主催のイベントへの参加	59	66	41	53
監事会、常任理事会の開催件数	16	16	16	17
表敬訪問件数	113	155	147	151
新聞社訪問件数(部会長懇談会案内他)	2	4	2	2
アンケート調査件数	0	5	3	4
各種調査依頼数(日本からの調査依頼)			61(52)	139(118)
会員からの提言件数	0	0	0	0
分科会の設置件数	0	0	0	0
昼食会の知事、大臣レベルの出席回数	3	3	1	2
会議所ホームページ・累計ページビュー数	755031	2251995	3472251	4135371
ブラジル経済情報の送付件数	213	214	207	205
事務局便りの送付件数(外部団体主催含む)	70	50	55	46
前年度比較における新しい試みの件数(下記項目別詳細)	-	-	-	0

注釈)件数は()内の共催数を含む。 日本進出企業の製造業企業数 116 社、サービス業企業 49 社(2010年1月現在) 2010年12月の日本語サイトページビュー数 20172 ポルトガル語 14237 (12月は初めの20日間のページビュー数 来年1月早々に正確な数字に修正)

2010年度定例懇親昼食会の状況

月	参加者 (人)	2010年度 講演者名	2009年度 講演者名	2010年度利用 ホテル名
1	170人	島内憲大使	島内憲大使/140人	ブルーツリーモルン ビ・ホテル
2	102人	エスタード紙の著名なコラム ニストであるセルソ・ミンギ 氏	牛田晋国際調査室主任(株)日本 政策金融公庫 国際協力銀行 /115人	インターコンチネン タル・ホテル
3	102人	ブラデスコ銀行マクロ経済調 査担当のオタビオ・バーロス 取締役	森口忠義イナシオ援協会長 /125人	マクソウドホテル
4	90人	元社会保障大臣で医薬品研究 開発協会のアントニオ・ブリ ット会長	ジルベルト・カサビ市長/123人	グラン・ハイヤットホ テル
5	100人	日系初のジョージ・ヤナイ上 院議員	パラナグア・アントニーナ港湾管 理公社企業開発担当のルイス・ アルベルト・セザール取締役/パ ラナグア港コンテナターミナルの ジュアレス・シルヴァ取締役/101 人	マクソウドホテル
6	100人	Electra Power Geração de Energia 社のヴァウモール・ア ウヴェス社長	ヴァルテル・イホシ下議/ウイリ アム・ウー下議/143人	ブッフェ・コロニアル
7	125人	通信省のロベルト・ピント・ マルチンス次官	バウルー市のロドリゴ・アゴスチ ーニョ市長/101人	マクソウドホテル
8	100人	環境コンサルタントのマルセ ロ・ロッシヤ氏	バンデイランテス・コミュニケー ションのジョアン・カルロス・サア ジ社長/90人	インターコンチネン タル・ホテル
9	100人	在ブラジル日本大使館政務班 長の澤田洋典参事官	サンパウロ州政府のオズワル ド・ルコン環境局補佐官/112人	インターコンチネン タル・ホテル
10	160人	竹中平蔵元金融大臣	エンブラエル社の横田聡元副社 長/90人	マクソウドホテル

11	90人	プライスウォーターハウスクーパー社のマルセロ・シオフィ・パートナー兼ブラジル自動車産業部門リーダー	アントニオ・パロッシ元財務相/日本大使館政務班の澤田洋典参事官/120人	インターコンチネンタル・ホテル
12	160人	マルコス・ガルボン在京ブラジル大使	大部一秋総領事/田中信会頭/中山立夫新会頭/180人	インターコンチネンタル・ホテル

II 2010年度の主要行事・活動報告書

1月

01日

- 環境委員会会合 今年の活動としてセミナーや見学会、環境関連スペシャリストによる講演会、環境問題の啓蒙など幅広い活動などについて大いに意見交換

20日

- 国交省長安政務官との意見交換会 (在サンパウロ日本国総領事館) 長安 豊国土交通大臣政務官/皆川 武士同秘書官/田村 明比古同省大臣官房審議官/江口 秀二同省鉄道局総務課鉄道国際戦略室長/武田 邦生同省総合政策局総務課国際業務室/和泉 章経済産業省製造産業局国際プラント推進室長/中山 裕二同省通商政策局中南米室係長/サンパウロ総領事館から大部一秋総領事ほか3名/商工会議所から11名

26日

- 南米研究会に大部一秋総領事や進出企業代表者など20人が参加して開催、ブラジル経済の第一人者の鈴木孝憲氏を講演者に招いてブラジル経済の2009年の回顧と2010年の展望について講演、三菱UFJリサーチ&コンサルティングのグローバルコンサルティング部の池上一希氏並びに平田藤義事務局長がオブザーバーとして参加

28日

- 会議所70周年記念委員会会合 記録集編纂担当の鈴木社長がドラフト資料で進捗具合を説明、データ編/資料編の挿入資料の選定、写真の選定や記録集の写真の配置、今後のスケジュールなどについて意見交換

2月

04日

- 2月8日移転価格税制ワーキンググループの予備会議 (日伯法律委員会 移転価格税制WG)

08日

- 移転価格税制ワーキンググループ会合 (日伯法律委員会 移転価格税制WG) 経済産業省通商政策局南米室の山下浩司課長補佐/吉村一元一等書記官が出席

- 第2回環境委員会 講演会・見学会候補案について

09日

- 上期の業種別部会長シンポジウム（総務委員会）

22日

- 邱永漢考察団来所 鈴木孝憲氏並びに田中信前会頭が講演

24日

- 移転価格ワーキンググループ会議（日伯法律委員会 移転価格税制 WG）

26日

- 渡部和男在パラグアイ日本国特命全権大使との意見交換会（在サンパウロ日本国総領事館）

3月

04日

- 国際公共政策研究センター(CIPPS)ミッションとの懇親・意見交換会（会議所主催） 田中直毅理事長/顧問の小泉純一郎元首相は気さくにテーブルごとの会員と共に記念撮影

05日

- アメリカ会議所(AMCHAM)評議員会就任式
- 第3回環境委員会（環境委員会） 3月末に開催予定のセミナー/8月の昼食会での講演/見学会の見積もりやスケジュールについて意見交換

08日、09日

- 日伯ブロードバンド(高速大容量通信)ワークショップ（日本国総務省とブラジル通信省共催）

08日 島内憲大使/総務省通信基地局の吉田靖電波部長が日本の情報通信技術の現状とポリシー/NTTドコモのラジオシステムグループのオオツ・トオル取締役が日本の情報通信技術の現状とポリシー/、NEC のワタナベ・ヨウイチ上級副社長補佐がC&C Cloud並びにワイヤレスブロードバンドについて/テレbrasのカルロス・ツプラット社長がブラジルのインフラ整備の現状/ANATEL 社のネルソン・タカヤナギ氏は 2018 年までのブロードバンドの普及予定/ジェトロ・サンパウロセンターの佐々木光所長は無料データベースTTPP の活用について/国際協力銀行(JBIC)リオ事務所の細島孝宏首席駐在員はハイテクのブロードバンドや通信機器のクレジットについて説明した

09日 オガタ・ヨシノリ・ジェネラルマネージャーが移動通信ビジネスと携帯デジタルテレビ技術/京セラのカツキ・ジュンゾウ・エグゼクティブオフィサーがワイヤレス通信技術とブラジルでの太陽光ビジネス/ジガコン・ブラジルのザキ・ヌーネス取締役がバックホール開発技術/MICOMOのジューリオ・オリヴァレス取締役はチリのコデルコ社の映像並びにワイヤレス通信/NTTサイバー・ソリューション研究所のキシガミ・ジュンイチ副社長はNGNブロードバンドサービス/古河電工ブロードバンド製品部のナカムラ・シュンイチ・ジェネラルマネージャーはブロードバンドマーケット/Padtec社のアルジェミロ・ソウザ取締役は自社の紹介では国内最大の光通信ネットワークの構築/ACCESS社のナラサキ・コウイチ上級エグゼクティブオフィサー

がポータブルレシーバーのためのGinga-NCLのプロットタイプ/ソニーの家電・デバイス部のトガシ・コウ・ジェネラルマネージャーはユニークな無線技術の紹介/CPqD社のファブリシオ・フィゲイレド取締役がハイブリッド・ブロードバンド・ワイヤレス・ネットワーク/運輸省道路インフラ部門のマリオ・モンドルフ最高責任者は国道コンセッション計画/国土交通省国際協力部のササキ・シゲユキディレクターは日本の道路の歴史/パナソニックの運輸システムカンパニーのビジネスセンターのアベ・トモアキ相談役は高速道路交通システムITSについてカーナビによる道路情報、VICS

15日

- 移転価格税制ワーキンググループのプレミーティング（日伯法律委員会 移転価格税制WG）/移転価格税制改正ワークショップ開催を前にアンケート調査の報告や分析、ワーキングショップの発表資料、今後のスケジュールなどについて意見交換

17日

- 金融危機後の米国、メキシコの政治・経済・マーケットに関する勉強会（ジェトロ・サンパウロ、会議所コンサルタント部会共催） ジェトロ・ニューヨークの梶尾朗調査次長が「米国経済の現状と見通し」について/ジェトロ・メキシコの経済交流促進担当の中畑貴雄ディレクターが「メキシコの最新経済、産業・市場動向」と題して講演

22日

- 70周年記念委員会会合 記録集の編集、製本、監修、精査方法、今後のスケジュールや懸案事項などについて意見の交換

23日

- グローバルICTセミナー『テクノロジートレンド クラウドコンピューティング ～持たないITという選択～』(NTT 社主催) アクセンチュア(株)のエグゼクティブ・パートナー馬場昭文氏が、又 NTT ブラジルの足立幸雄代表取締役社長から『NTT が南米で目指す 日本品質とは』と各々が大変興味深いプレゼンを行った/ NTT コミュニケーションズ本社から和才博美代表取締役社長/大部一秋総領事

25日

- 第2回サンパウロ市都市交通整備事業準備調査公聴会（JICA、サンパウロ交通機関公社(SPTTrans)共催） JICAの江口雅之ブラジル事務所次長が開催挨拶/SPTTrans 公社のラウリンド・ジュンケイラ監査役は「サンパウロにおけるモノレール事業実施に向けて」/JICAの奥津明男調査団長がサンパウロ年交通政治事業準備調査について/JICAブラジル事務所のマウロ・マナブ・イノウエ・プロジェクト・コーディネーターは「JICA支援体制と円借款事業実施における技術協力」について講演を行った。

30日

- 第3回日伯貿易投資促進合同委員会を前に開発商工省のイヴァン・ハマ-リヨ 事務次官が特別講演
- 「日本鉄鋼業の省CO2活動とブラジル鉄鋼業への移管状況」セミナー（環境委員会） 講師は南米新日鉄の出見宏之氏

31日

- 日伯貿易投資促進委員会フォローアップおよび第4回知的財産権保護に関する勉強会（日伯法律委員会、日伯経済交流促進委員会、コンサルタント部会） /宮下匡之在ブラジリア日本大使館総務参事官/吉村一元一等書記官は第3回日伯貿易投資促進委員会フォローアップ、第4回知的財産権保護、自動車工業会の二輪車に模造品対策ミッションの訪伯結果/ソニーの筒井隆司社長は並行輸入ビジネスのよくなりと正常化などの関するソニーの取り組みについて講演

4月

05日

- 移転価格税制についての会合（FIESP）
- サンパウロ水害対策に関する日伯ワークショップ（JICA、国土交通省、サンパウロ総領事館並びにサンパウロ市役所共催） 州衛生エネルギー局のヒカルド・トレド・シルバ次局長は「サンパウロ州政府の水害対策戦力」/DAEEチエテ流域計画管理局のジェニヴァウド・アギアール・コーディネーターは「サンパウロ州における水災害の現状と課題」/国土交通省河川局河川環境課の大槻栄治推理技術調整官は「日本における治水」/同省総合政策局国際建設推進室の山内洋志国際協力官が「日本における大規模自然災害発生時の初動対応」/市都市開発局のミゲル・ブカレン局長は「サンパウロ市における排水整備計画」/JICA 地球環境部水資源第一課の古本一司調査役は「治水に関するJICAの国際協力」について講演
- ブラジル三井物産(中山立夫社長)主催の第3回冠講座/東京大学の島村暁代助教がポルトガル語による「日伯年金協定締結への最近の動き」/東京大学法学部の荒木尚志教授は「日本の雇用システムの変化と労働政策・外国人労働者政策の課題」について講演 サンパウロ州立大学法学部の講堂

08日

- STANLEY ELECTRIC DO BRASIL LTDA. の定礎式 /近藤克美常務取締役や米谷光弘執行役員/シルビオ・フェリックス市長

13日

- 日産ルノー社のカルロス・ゴーン社長講演会とサンパウロ市役所による電気自動車導入の充電インフラ整備の共同研究調印式（ブラジル・レバノン商議所主催） /サンパウロ市のジルベルト・カサビ市長も参加

14日

- ブラジル三菱東京UFJ銀行の頭取交代レセプション（ブラジル三菱東京UFJ銀行主催）（竹内明氏から村田俊典氏）

15日、16日

- 第3回日伯貿易投資促進委員会 ブラジリアで開催（日伯経済交流促進委員会・貿投委） 移転価格問題、中古資本財の輸入制度改善、ビザ問題、通関遅延問題、技術移転問題

27日

- 2010年税制変更に関するセミナー（コンサルタント部会、日伯法律委員会） KPMG

Auditores Independentes 社のヴァルテル・マサオ・シミズ日系班シニア・マネージャーが「投資と利益の分割」/Ernst & Young Auditores Independentes 社のデメトリオ・ゴメス・バルボーザ・上級エグゼクティブが「暫定令 478 号/2009—移転価格税制の変更」/PricewaterhouseCoopers Auditores Independentes 社のエヴァニー・アパレシーダ・オリベイラ税制担当取締役は「過小資本の新規制」/Trench, Rossi e Watanabe Advogados.社のマリアナ・デ・ヴィット弁護士は「社会保障の色々な問題の現実」/Braga & Marafon Consultores e Advogados 社のエドアルド・バレット・マネージャーは「Eコマース-税制面における税徴収計画」/Pinheiro Neto Advogados 社のジアンカルロ・マタラーゾ共営者は「プレミアムに関する税制処理—判例の進展」/TozziniFreire Advogados 社のジョージ・エンリケ・ザニネッテ共営者は「税制改革計画の将来—形態に関する本質」/Felsberg, Pedretti, Mannrich e Aidar Advogados e Consultores Legais 社のルイス・アレシャンドレ・バルボーザ・シニアリーダー は「輸入に関する納税計画並びに州間の税収争い」/Gaia, Silva, Gaede & Associados 社のマウリシオ・バーロス税制担当マネージャーは「ICMS税の先払いに対する論争」/Abe, Costa, Guimarães e Rocha Neto Advogados 社のマルコス・エドアルド・ダ・シルバ弁護士は「賃貸オペレーションのISS-リーディングのインパクトに対する連邦最高裁判所の立場」/Deloitte Touche Tohmatsu 社のマウリシオ・ジャコブ・プラド共営者は「P&D—主要税制」について講演

30 日

- 食品部会会合 工場見学会の日程、見学内容などについて意見交換
- ANFAVEA（全国自動車工業会）の理事会就任式（会長は Jackson Schneider 氏から Cledorvino Belini 氏へ交代）

5 月

02 日

- 日曜日 麻生前総理大臣との懇談会（在サンパウロ日本国総領事館） 日本在住者を除く当地の日系社会人口120万人に、歴代の総理の中でも一番知られ、慕われている麻生総理を囲み「ブラジル経済の現状」について気軽な意見交換会となった。懇談会には顧問の中野喜一郎氏がご出席、主催者の在サンパウロ総領事館からは大部総領事と加藤領事が又会議所からは田中名誉会頭、長谷部副会頭、近藤副会頭、杉山副会頭、松田副会頭、林専任理事、伊藤専任理事、佐々木専任理事、鷲巣専任理事、西岡専任理事、平田事務局長

07 日

- パウロ・スカッフ FIESP 会長モジ・ダス・クルーゼス市名誉市民授与式 MOGI 市長、市議会のほか一般市民、学校関係、企業また FIESP の姉妹団体であるサンパウロ州工業センター（CIESP）の MOGI 支部から大勢が参加、特に人造りの功績のあったスカッフ氏に対し敬意を表した。
- 在ブラジル日本国大使館の臼田昇一等書記官と日伯間のデジタルテレビやブロードバンド対応等に関する現状と今後の展開等について情報交換会（在ブラジル日本国大使館） 今回

の会議所メンバーとの会合には総務省消費者行政課の課長補佐 本田 昭浩、(財)日本データ通信協会迷惑メール相談センター担当部長 西松 薫、(社)JPCERTコーディネーションセンター情報セキュリティ分析官 小宮山 功一朗、日本インターネットイニシアティブ(株) 櫻庭 秀次、電気電子部会の倉橋 登志樹(パナソニック・ブラジル)、三好 康敦(PRIMOTECH21)、伊地知 嗣典(NEC)、金子 行雄(センプ東芝)、安藤 征臣(ソニーブラジル)、運輸サービス部会から足立 幸雄(NTT ブラジル)、岐部 ルイス(UBIK)、また在サンパウロ総領事館の加藤 秀雄領事、ジェトロ・サンパウロ 佐々木 光所長、ジェトロ・サンパウロ 紀伊 寿雄諸氏のほか会議所から平田 藤義事務局長が参加した。

13日

- 会議所70周年記念委員会会合 会議所70周年記録集の写真の選定、全体の構成、会員企業への配布、印刷部数、今後のスケジュール、文字のフォントや表紙などについて意見の交換

17日、18日

- 第13回日伯経済合同委員会 (全国工業連合(CNI)、日本経団連共催) 貿易・投資の円滑化/ エネルギー /アグリビジネス / インフラ / 先端技術についてのパネル討議

25日

- 日清味の素アリメントス工場見学会 (食品部会)

31日

- 第4回環境委員会 見学会の打ち合わせ (環境委員会)

6月

07日

- 移転価格税制についての会合 (FIESP)

08日

- アフリカ諸国への日伯デジタルテレビ方式であるISDB-T 方式導入のための日伯連携セミナー開催について意見交換 (電気電子部会)

10日

- 春の叙勲伝達式/能登オズワルド・クルース日伯文化協会会長として教会の発展及び邦人の団結、安定に貢献した西谷博氏に旭日双光章の勲章と勲記が伝達された。サンパウロ総領事公邸

16日

- サンパウロ州石油化学工業組合(Sinproquim)主催による顕著な経済学者のマイルソン・フェレイラ・ダ・ノブレガ元財務相の講演会「ブラジル政治経済の見通し」に参加

18日

- ブラジル日本移住開拓戦没者慰霊法要に参加 イビラプエラ公園内のブラジル日本移民開拓戦没者慰霊碑

- 開拓先亡者追悼大法要 文協記念講堂

24日

- 「内部監査」に関するセミナー（コンサルタント部会） ロドリゴ・ラポーゾ プライスウォーターハウスクーパースパートナーを講師に招いて講演会開催

29日

- ブラジル－イタリア新パートナー戦略セミナー ルーラ大統領/ベルスコニ大統領/ミゲル・ジョージ開発相参加（FIESP 主催）

7月

01日

- 在ブラジル日本大使館の宮下匡之参事官との意見交換 帰国を目前に控え、会議所関係者と在任中の印象的な回顧と今後の更なる官民連携強化に向け意見交換/出席者:K-LINE 畠山会長、プリモテック21 三好社長、東京海上保険原島社長、NTT足立社長、デンソー 齊藤副社長、デロイト 都築 Director、ソニー 豊貴 Finance Director、平田事務局長、大部 総領事、前 田書記官、JETRO 澤田所長

02日

- サンパウロ新聞社の鈴木雅夫社長が 70 周年記念集のドラフト改定版を持参 600 ページに及ぶ記念集ドラフト改定版を持参、平田事務局長に手渡し、今後、会議所 70 周年委員会のメンバーが最終的に査読、精査などを予定

07日

- 日本精工 (NSK ブラジル) 創立 40 周年記念 日本本社から大塚紀男社長を迎えて

16日

- 臨時理事会・臨時総会 定款ならびに選挙規則改定案承認
- ヤマトグループの創立 20 周年記念パーティ（ヤマトグループ主催） ヤマトグループは 20 周年事業として同区にカレー店、日本酒専門店などで構成される日本食フードコートのオープンを予定 平田藤義事務局長

19日

- FIESP 国際投資家支援グループの臨時会合 移転価格税制 (TP) などについて意見交換 平田藤義事務局長

22日

- 社会奉仕プロジェクト紹介イベント（グラデュアル証券パウロ・コバヤシ協会 IPK 共催） 平田藤義事務局長

26日

- 日伯文化社会統合協会 (OSCIP) の評議員会合（日伯文化社会統合協会主催） 平田藤義事務局長が出席。当協会は日系主要 5 団体（会議所、文協、県連、援協、アリアンサ）によって 2006 年設立され、当初の目的はブラジル日本移民百周年記念の諸行事の資金調達、当協会を OSCIP（民間組織公益団体）としてブラジル法務省に登録、今後は日本とブラジルの間

での文化、社会、教育及び環境の分野に関する活動やプロジェクトを展開する事を目的としている。

8月

03日

- FIESP国際通商担当理事のロベルト・ジアネッチ・フォンセカ氏を表敬訪問、日伯経済関係強化の視点からエネルギー、鉄鉱石、製鉄、深海油田開発、食糧、バイオ燃料など幅広く意見交換 中山立夫会頭(三井物産執行役員兼ブラジル三井物産社長)、ブラジル三井物産情報産業課の杉本靖取締役並びに平田藤義事務局長

11日

- ジャーナリストアウグスト・ヌーネス氏の講演会 テーマは「大統領選挙の黒幕－マスコミが語らない舞台裏」(サンパウロ州石油化学工業組合 SINPROQUIM 主催)

12日

- 東山グループ、日本の農林水産省が実施する「日本食海外普及功労者表彰」を受賞
サンパウロ総領事公邸で賞状伝達式が行われ、島内憲大使、大部一秋総領事、木多喜八郎文協会長など大勢が参加、商工会議所から中山立夫会頭が参加した。サンパウロ総領事公邸
岩崎社長は「この受賞を大変光栄に思うと同時に、東山に関係する企業や人々によって得られた賞だと思えます」と述べ、同日夜には国際交流基金サンパウロ日本文化センターで岩崎社長やヴァーロール・エコノミコ紙のマルリ・オルモス記者による記念講演も開催され、商工会議所からは平田藤義事務局長が参加した。国際交流基金サンパウロ日本文化センター

14日

- 土曜日 ジャパンカップを開催/第16回ジャパンカップ直後の第8レースは商工会議所の創立70周年記念レース

16日

- 日伯文化社会統合協会臨時総会 主な議題は民間組織公益団体(OSCIP)等(日系社会委員会) 前田委員長、平田事務局長出席

17日

- 下期の業種別部会長シンポジウム 磐田信用金庫ミッションも参加 磐信ミッション団長 高木昭三 磐田信用金庫 理事長

19日

- 70周年記念委員会 記念集ドラフト資料で意見交換
- ブラジル日本移民史料館のデジタル・アーカイブプロジェクト(日伯修好百周年記念基金助成の対象となったプロジェクトの一つ)の一環として、小物物品の一部史料のデジタル化並びにその収蔵庫が完成、お披露目式開催(ブラジル日本移民史料館)

25日

- アメリカ商工会議所「税制タスクフォース」会議(アメリカ会議所(AMCHAM)主催) テーマは

「移転価格税制(TP)」、「ブラジルと米国の二重課税防止」、「税制改革」に絞って意見交換や討論

9月

01日

- 島内 憲大使の送別会（在ブラジル日本国大使館）中山立夫会頭がブラジリアで行なわれたこの送別会に臨席したブラジル開発商工省の事務次官イヴァン・ハマリーヨ氏にも会い、来る11月末に予定されている第4回日伯貿易投資促進合同委員会（東京）に向けた準備会合についても話し合った

09日

- 島内憲特命全権大使の送別会 文協にて（日系主要団体共催）

13日

- ブラジル投資・ビジネス・ミッション参加者との懇親会（ジエトロ主催） ミッション側 43人/ブラジル側 70人

14日

- 経済産業省通商政策局とブラジル経済全般およびビジネス環境整備などについて意見交換（ジエトロ主催） 戸谷文聡大臣官房審議官並びに同局米州課中南米室の中山裕二係長/参加者は寺田健司氏（ホンダサウスアメリカ）、篠原一宇氏（パナソニック）、麻布秀俊氏（ブラジル三井物産）、深瀬聡之次長（ジエトロ）、平田藤義事務局長
- 第4回三井物産冠講座/九州大学小島立准教授を招待して「商標件の効力の制限:商標登録、商標的使用および商標の類否との関係」について講演

15日

- 「2011/2012年度理事選挙」選挙管理委員会の会議 参加者は選挙管理米倉立二郎委員長、選挙管理中村敏幸委員長、山田唯資理事選管委員、藤井敏晴理事選管委員、松田雅信総務副委員長、平田藤義事務局長

27日

- 在ブラジル日本国大使館総務・経済総括との意見交換会（在サンパウロ日本国総領事館）総務総括班長の高杉公使参事官及び同大使館経済総括班長の今西参事官との業界の主要課題等や日伯貿易投資促進委員会に向けての意見交換会
- 「How to do Business in Brazil 2010」の出版記念パーティ（アメリカ商工会議所主催）100人参加/アメリカ商工会議所のガブリエル・リコ会頭の「ブラジルへの海外投資をいかに増やすか 並びに今後数年間の見通し」/Machado, Meyer, Sendacz e OPice 弁護士事務所のインフラ部門のジョゼ・ヴィルジリオ・ロペス・エネイ・パートナーが「外資系企業の官民合同プロジェクト(PPPs)のインフラ プロジェクト並びに入札参加ー困難とチャンス」/ブラジルMcLane社の国際ロジスティック部門のフェルナンド・メデイロ取締役は「輸送と 物流部門における外国資本の比率増加の見通し」について講演

10月

02日

- 第4回文協大総合美術展のオープニングセレモニー 日系社会委員会が参加（ブラジル日本文化福祉協会主催）前田一郎日系社会委員長

06日

- ブラジル三井化学の開所式（ブラジル三井化学主催）日本本社から藤吉健二取締役会長が参加/ブラジル三井化学は経済成長著しいブラジルにおいて、南米における市場開発、既販売製品の拡販、新たなビジネスチャンス発掘をすすめるために設立

07日

- 日伯経済交流促進委員会の準備会合 今月 25 日の商工開発省のイバン・ラマーリョ次官との意見交換会や 11 月 25 日、26 日に東京で開催される第 4 回貿易投資促進委員会を前に準備会合で意見交換

08日

- 臨時総会 2011/2012 年度理事・監事選挙結果報告承認
- 10 月の懇親昼食会/小泉政権下で金融担当大臣、総務大臣などを歴任した竹中平蔵慶応義塾大学教授並びにウジミナスのウイルソン・ブルメール社長が講演。

14日

- 移転価格税制(TP)会議（アメリカ会議所(AMCHAM)主催）平田藤義事務局長は移転価格税制(TP)の会議に参加/ドイツ会議所(AHK)の TP への取り組み、アメリカ会議所(AMCHAM)の主な提案、AHK,日本商工会議所並びに英国会議所の二重課税条約の現状、AMCHAM の二重課税条約のストラテジー並びに結果の紹介が行われた

20日

- 移転価格税制改正案セミナー（コンサルタント部会、日伯法律委員会）Deloitte Touche Tohmatsu 移転価格部シニア課長のエジネイ・幸地弁護士がポルトガル語で説明、都築慎一部会長が逐次日本語に翻訳して講演

22日

- トロピカル・フローラ社植林サイト見学会（環境委員会）
- 地方統一選挙で当選したサンパウロ州出身の日系議員に対して敬意を表する記念会（リベルダーデ文化福祉協会 ACAL）
サンパウロ州出身の当選議員はジュンジ・アベ下院議員(DEM)、イオランダ・ケイコ・ミアシロ・オタ下院議員(PSB)、エリオ・ニシモト州議員(PSDB)、ジョージ・ハト州議員(PMDB)

25日

- 開発商工省のイヴァン・ハマリオ事務次官との意見交換会（日伯経済交流促進委員会/日伯貿易投資促進合同委員会事務局）

26日

- サンパウロ州工業連盟(FIESP)の海外投資家(GPAII)グループの会合、国税庁との会合に向けて移転価格税制について意見交換（FIESP）

27日

- 移転価格税制セミナー ポルトガル語版(コンサルタント部会、日伯法律委員会)
Deloitte Touche Tohmatsu 移転価格部シニア課長のエジネイ・幸地弁護士が講師、フェルナンド・マツス弁護士がサポート

29日

- 安全対策セミナー (総務委員会安全対策チーム) 講師: LIFESEC 社の柳田コウジ代表

11月

08日

- ブラジル日立(西岡勝樹社長)の70周年記念パーティー (ブラジル日立主催) 本社から森和廣副社長、サンパウロ総領事館の大部一秋総領事も出席

12日

- 臨時理事会で中山立夫会頭が2011/12年度会頭に再選

16日

- 海外邦人安全対策評議会セミナー開催 (在サンパウロ日本国総領事館、会議所総務委員会安全対策チーム)

17日

- マイルソン・ダ・ノブレガ元財務相の自叙伝出版パーティ
- ブラジル日本商工会議所並びにアメリカ商工会議所(AMCHAM)共催のハッピーアワー開催、移民100周年を祝った2008年開催の第1回に引続き今回は会議所70周年がメインテーマ(企画戦略委員会)

18日

- 日伯法律委員会(松田雅信委員長)の移転価格税制会合 (日伯法律委員会 移転価格税制WG)
参加者は篠原一宇委員長代理(パナソニック)、寺田健司副委員長(ホンダ)、出見宏之氏(新日鉄)、澤田吉啓日伯経済交流促進委員長(ジェトロ)、セルジオ・シンジ・ミヤケ氏(ホンダ)、平田藤義事務局長 (日伯法律委員会)

22日

- 国立工業所有権院(INPI)のジョージ・アヴィーラ局長、カルバーリョ役員と商工会議所会員の要望事項、投資障害や技援契約上技術者派遣費用別途請求などについて意見交換 (日伯法律委員会 移転価格税制WG)
会議所からは篠原一宇(パナソニック)、出見裕之氏(南米新日鉄)、伊澤崇也氏(南米新日鉄)、セルジオ・ミヤケ氏(ホンダサウスアメリカ)が参加

24日

- 第14回会合日伯経済合同委員会に対し、経団連でSteering Committee会議が開催

25日、26日

- 「ブラジル新会計基準(国際会計基準)について」セミナー(コンサルタント部会) Deloitte Touche Tohmatsu 会計事務所監査パートナー中村敏幸氏が講演

- 第4回日伯貿易投資促進合同委員会準備会合（日伯経済交流促進委員会）ブラジルの移転価格税制/技術移転におけるロイヤリティの問題点/技術移転におけるノウハウ契約の問題点/ビザ取得年数の延長と簡素化

12月

06日

- 連邦収税局との会合（日伯法律委員会・移転価格税制WG）

09日

- 忘年会 会議所70周年を記念 - マルコス・ガルボン在京ブラジル大使夫妻、大部総領事夫妻参加。70年記録集刊行を発表、当日参加した会員企業に贈呈（他の会員企業には後日渡す）（70周年記念委員会）

16日

- 三輪昭在ブラジル日本大使歓迎会（日系主要5団体主催）

総括

今年1年を回顧、特筆すべき事項として移転価格税制暫定法（MP478号）への対応に追われた年、日伯経済交流促進に加速度の年、会議所70周年を契機に会議所運営における抜本的改革の年、70周年記録集編集の年、社会的貢献の年の会議所5大事業を挙げる事が出来る。

移転価格税制暫定法（MP478号）への対応

昨年の暮れ（12月29日）に発布された暫定法478号が会員企業に与えるインパクトが極めて大きく、担当の日伯法律委員会が進出日本企業を対象に緊急アンケート調査を実施。

会議所内では日伯法律委員会（松田雅信委員長）およびコンサルタント部会（都築慎一部会長）の両委員・部会員で構成するワーキング・グループ（WG）が中心となりMP478号の詳細分析を兼ねた勉強会を行う以外に、他の経済団体（FIESPやアメリカ会議所）との意見交換を通じ、アメリカ会議所（Amcham）/ブラジル工業連合会（CNI）を発起人とするタスクフォース・メンバーの一人として平田事務局長が参加した。

一方、当所のカウンターパートの日本経団連と共に両国政府のハイレベル協議としての日伯貿易投資促進合同委員会（略：日伯貿投委）の緊急重要テーマとしても俎上。第3回日伯貿投委（4月ブラジリア）においては在ブラジル日本大使館が予め特別にセットした連邦収税局と当会議所の関係メンバーによる意見交換会を行った。

さらに第4回日伯貿投委（11月東京）においても共同議長役を勤めるブラジル側、開発商工省（MDIC）ハマリオ次官（副大臣）に財務省国際関係担当次長のマンデル氏も随行、両国政府間レベル協議に我々民間側が加わった形で十分な意見交換を行った。

又第4回日伯買投委が終わった後、12月6日には在ブラジル日本大使館がセット下さった連邦収税局と当所の関係メンバーとの間で、去る4月に続き第2回目の意見交換を行った。

日伯経済交流促進に加速度

今年3月30日、日伯経済関係強化のためハマリオ次官が当会議所会員に対し特別講演、この講演会を契機に第3回日伯買投委（ブラジル）、10月25日の第4回買投委東京会議に向けた準備会合（ハマリオ次官自らがアジア地域訪問先の帰途、サンパウロに立ち寄り会議所メンバーと膝を交えた意見交換会）、さらに第4回買投委の本会合における成果（技術移転/移転価格税制/貿易面）に繋がった。

また今年5月東京で行われた経団連/CNIによる第13回日伯経済合同委員会においても現時点で問題とされるビジネス円滑化阻害要因の問題（税制、技術移転、知的財産権等）に加え、中長期の視点から広範囲に亘るテーマについて討議。【主として以下の分野】

【経済的枠組み（投資協定やEPA/FTA）、エネルギー、天然資源、バイオ燃料、石油・ガス、太陽光、風力などの再生可能エネルギー、IT、航空機、バイオテクノロジー、地上デジタル放送、産学連携および製品やサービスのイノベーション、製造業では投資促進と技術移転および地場産業の育成（自動車、電化製品）、ブラジル農業技術の強み、日本市場におけるブラジル農産品の流通拡大、環境関連技術（アグロフォレストリー、アマゾンの森林保護等）、日伯両国の新しい協力関係の構築、第三国における共同プロジェクト（モザンビークの熱帯雨林における農業開発等）、ブラジルにおける投資機会として鉄道、道路、住宅、公共施設などの都市整備、倉庫や港湾などの物流インフラの整備、情報通信インフラ、電力インフラ、2014年ワールドカップ、2016年オリンピックなどのスポーツ・イベントにおける協力】

会議所70周年を契機に会議所運営における抜本的改革

中山立夫新体制下、総務委員会（近藤正樹委員長）や日伯法律委員会（松田雅信委員長）および外部有識者も改定委員会に参加頂き、4回に及ぶ常任理事会審議を経て歴史的な定款・規則の大改定を断行した。会議所活動の原点に立脚、特に運営面から、定款・選挙規則を大幅に修正、新たな関連詳細規定も作成し、全100条項の中53条項を改正、規則に関連する新たな詳細規定として理事・監事選挙規定（各々26項目）/会頭選挙規定（電子メール投票22項目）計74項目を定めた。定款・規則詳細はHPに掲載。

70周年記録集編纂

当会議所には歴史的に10年単位とか25年単位とかで記念誌を編纂する習慣が1回も無かった。ある時期から日本進出企業が増え、代表者の交替頻度による止むを得ない諸事情があったかも知れないが、70周年委員会を編成（和田亮委員長/前佐々木光委員長）のメンバー諸氏（鈴木徹、壇上誠、原宏）、構想段階でご協力下さった田中信前会頭および献身的に最初から又、校正・監修に至るまで携わった山田唯資前監事会議長並びに資料の整理や校正、監修作業にも側面的に加わった柴田千鶴子事務局長補佐、平田事務局長等が先人達の築いた歴史に敬意を表し、全身全霊心血を注いだ尽力のお陰で、初めて日本語版が完成した。編纂業務を引き受けたサンパウロ新聞社代表の鈴木雅夫社長にも感謝致したい。ポルトガル語版は来年、事務局職員だけで作成予定。

社会的貢献

会員企業の中には、積極的に将来を担う若い学生等を対象に各種冠講座やセミナーを定期的を開催、今年には特に会頭をはじめ会議所日系社会担当委員会（前田一郎委員長）が日系諸団体の各種会合や行事に積極的に参加し交流が一層深化した年である。

以上

参考資料:会員の推移

1)2010 年度月次国籍別の会員

Mês 月	入退会 残	Origem 国籍						TOTAL 合計	OBS
		Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジ ル	Estran 外資	Total 計 Empresas	PF 個人		
1	Adesão	0	1	0	1	2	0	2	
	Desliga	0	2	0	0	2	0	2	
	Saldo	165	91	32	18	306	10	316	
2	Adesão	0	1	0	0	1	0	1	
	Desliga	1	1	0	0	2	0	2	
	Saldo	164	91	32	18	305	10	315	
3	Adesão	0	1	1	1	3	0	3	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	164	92	33	19	308	10	318	
4	Adesão	0	1	0	0	1	0	1	
	Desliga	0	1	1	0	2	0	2	
	Saldo	164	92	32	19	307	10	317	
5	Adesão	1	0	1	1	3	0	3	
	Desliga	0	0	1	0	1	0	1	
	Saldo	165	92	32	20	309	10	319	
6	Adesão	1	1	3	0	5	0	5	
	Desliga	0	0	1	0	1	0	1	
	Saldo	166	93	34	20	313	10	323	
7	Adesão	1	0	3	0	4	0	4	
	Desliga	0	2	0	0	2	0	2	
	Saldo	167	91	37	20	315	10	325	
8	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	167	91	38	20	316	10	326	
	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	

9	Desliga	1	0	1	0	2	0	2	
	Saldo	166	91	37	20	314	10	324	
10	Adesão	2	3	0	0	5	0	5	
	Desliga	0	0	0	0	0	3	3	
	Saldo	168	94	37	20	319	7	326	
11	Adesão	2	0	2	1	5	0	5	
	Desliga	0	1	1	0	2	0	2	
	Saldo	170	93	38	21	322	7	329	
12	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	0	0	0	1	1	1	2	
	Saldo	170	93	38	20	321	6	327	
入会	Adesão	8	8	11	4	23	30	30	
退会	Desliga	2	7	5	1	13	15	19	
残	Saldo	170	93	38	20	151		327	

2) 年度/国籍別の会員推移

ANO 年	入退会 残	Origim 国籍						PF 個人	TOTAL
		Japonesas 進出	Nikkeis 日系	Brasileiras ブラジル	Estrangeiras 外資	Sub 計	Soma 合計		
2000	Adesão	1	6	3	1	9	11	3	14
	Desliga	3	2	0	0	2	5	0	5
	Saldo	156	83	34	17	134	290	3	293
2001	Adesão	2	3	2	0	5	7	11	18
	Desliga	3	7	4	0	11	14	0	14
	Saldo	155	79	32	17	128	283	14	297
2002	Adesão	2	4	1	0	5	7	0	7
	Desliga	7	2	6	1	9	16	0	16
	Saldo	150	81	27	16	124	274	14	288
2003	Adesão	7	7	9	2	18	25	3	28
	Desliga	14	2	4	1	7	21	2	23
	Saldo	143	86	32	17	135	278	15	293
2004	Adesão	5	10	8	2	20	25	3	28
	Desliga	7	3	6	1	10	17	5	22
	Saldo	141	93	34	18	145	286	13	299
	Adesão	11	5	7	4	16	27	4	31

2005	Desliga	8	9	5	4	18	26	4	30
	Saldo	144	89	36	18	143	287	13	300
2006	Adesão	7	9	5	1	15	22	2	24
	Desliga	4	2	5	0	7	11	3	14
	Saldo	147	96	36	19	151	298	12	310
2007	Adesão	8	7	8	1	16	24	0	24
	Desliga	2	11	10	1	22	24	0	24
	Saldo	153	92	34	19	145	298	12	310
2008	Adesão	7	5	1	2	8	15	0	14
	Desliga	3	7	2	3	12	15	2	17
	Saldo	157	90	33	18	141	298	10	308
2009	Adesão	11	8	4	3	15	26	1	27
	Desliga	3	6	5	4	15	18	1	19
	Saldo	165	92	32	17	141	306	10	316
2010	Adesão	7	8	11	4	23	30	0	30
	Desliga	2	7	5	1	13	15	4	19
	Saldo	170	93	38	20	151	321	6	327
2011	Adesão								
	Desliga								
	Saldo								

3) 業種別部会/国籍別毎の会員数

業種別部会/国籍別毎の会員数 表-3

2010年12月現在

Nº	Dep 部会	Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジル	Estrang 外資	Soma 計	PF 個人	TOTAL
	Dez-10	170	93	38	20	321	6	327
1	Automotivo 自動 車	25	3	0	1	29	0	29
2	Comércio Exterior 貿易	21	5	1	1	28	0	28
3	Construção e Imobiliária 建設	4	8	2	0	14	0	14
4	Consultoria e	3	28	25	5	61	5	66

	Asses	コンサル							
5	Eletroeletrônico	電気電子	24	4	1	0	29	0	29
6	Fiação e	Tecelagem 繊維	8	1	0	0	9	0	9
7	Financeiro	金融	11	5	4	3	23	0	23
8	Gêneros	Alimentícios 食品	8	5	1	1	15	0	15
9	Metalmecânica	機械金属	35	5	1	1	42	1	43
10	Produtos	Químicos 化学	20	1	0	0	21	0	21
11	Transportes e	Serviços 運輸	11	28	3	8	50	0	50